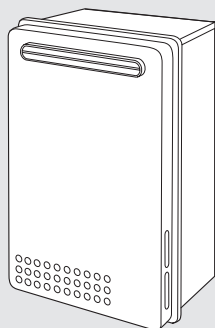


ガス給湯器

133-N100/N102/N105型

133-N110/N112/N115型

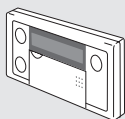
133-N120/N122/N125型



(133-N100型)



(台所リモコン)



(浴室リモコン)

<BL認定品>

型式名

GQ-2437WS
GQ-2437WS-C
GQ-2437WS-TB

GQ-2037WS
GQ-2037WS-C
GQ-2037WS-TB

GQ-1637WS
GQ-1637WS-C
GQ-1637WS-TB

取扱説明書 保証書付

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
- ・この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。




SBB80SP



必ずお守りください(安全上の注意)-1


お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。


■ 危害・損害の程度による内容の区分

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。


■ 注意・禁止内容の絵表示

										
高温注意	感電注意	必ずおこなう	アース必要	電線ラゲを抜く	禁止	火気禁止	接触禁止	ぬれ手禁止	分解禁止	


 **危険**

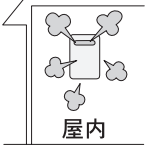
 ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する




ガス・ガス
ガス栓
ガス

 屋内に設置しない




屋内

一酸化炭素中毒の原因になります。

 ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。



もくじ

もくじ	1
必ずお守りください(安全上の注意)	2
各部のなまえとはたらき(機器本体)	7
初めてお使いになるときは	8

リモコンに記載の型番をお確かめのうえ、それぞれの説明をお読みください

型番 138-0040型 138-0041型 をお使いの場合	型番 138-0042型 138-0043型 をお使いの場合
各部のなまえとはたらき(リモコン) 9	各部のなまえとはたらき(リモコン) 23
台所リモコン 9	台所リモコン 23
浴室リモコン 11	浴室リモコン 24
使いかた	使いかた
時計を合わせる・時計を表示させる ... 13	お湯を出す/お湯の温度を調節する ... 25
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす ... 14	お風呂のお湯はりをする 27
お湯を出す/お湯の温度を調節する ... 15	浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす ... 29
お風呂のお湯はりをする<オート止水> 17	リモコン操作音の消しかた、鳴らしかた ... 29
お湯はり温度を調節する 19	表示の節電を切り替える 30
お湯はり湯量を調節する 20	
各設定を変更する 21	
(リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)	

リモコンがない場合

お湯を出す/お湯の温度を調節する	31
凍結による破損を予防する	32
日常の点検・お手入れのしかた	34
故障・異常かな?と思ったら	36
アフターサービスについて	41
主な仕様	42
保証書	裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)-2

警告

⚠ 異常燃焼・異常臭気を感じたとき、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する



入浴時も、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



やけど予防のため。

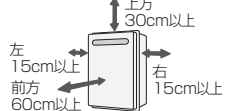


シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



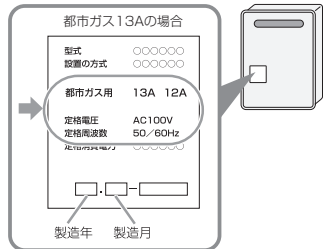
燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)



火災予防のため。



必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。



子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。



ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する

安全に使用していただくため。



修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。



燃えやすい物をまわりに置かない
(洗濯物、新聞紙、灯油など)



火災の原因になります。

(つづき)



増改築などで屋内状態にしない
(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



スプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

注意



必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。



電源プラグはぬれた手でさわらない



感電の原因になります。



電源プラグのほこりはときどき取る
ほこりがたまると、発火の原因になります。



機器取り替えと乾電池に関するお願い

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。



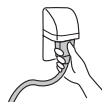
電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く



コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。



給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない


思わぬ事故を予防するため。


(つづく)

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

 電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。
感電、ショート、火災の原因になります。




 **太陽熱温水器との接続時の注意**
【リモコンがある場合】
太陽熱温水器とは絶対に接続しない。
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。
【リモコンがない場合】
太陽熱温水器との接続は可能ですが、やけど予防のため、混合水栓が付いていることを確認してください。

 使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

やけど予防のため。

【リモコンにスピーカーがある場合】
リモコンには磁石を使用しています
磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

お願い

 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)
 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、現在時刻を合わせてください。

ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。
リモコンの掃除には、ベンジンや塩素系の洗剤を使用しない
変形する場合があります。
浴室リモコンに故意に水をかけない
防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。
台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を止さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。(つづく)

(つづき)

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する
時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)
ガラスが割れたり変色する原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合は保証期間内でも有料修理になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする

(P33)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

給湯栓を絞らずさない

消火する直前の量でお湯を使うと高温になる場合があります。
やけど予防のため。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

凍結による破損を予防する (P32～33)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする

雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

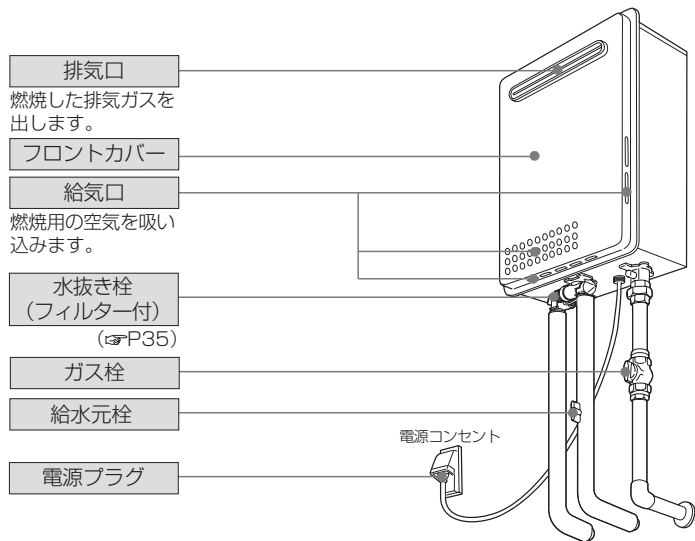
断水したときは飲用や調理に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋外設置壁掛形】

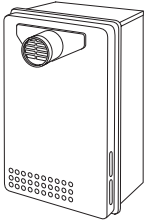
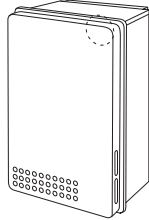
133-N100型, 133-N110型, 133-N120型



(例: 133-N100型)

※上のイラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

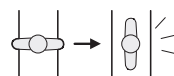
PS設置前方排気形	PS設置後方排気形
133-N102型 133-N112型 133-N122型	133-N105型 133-N115型 133-N125型
	

初めてお使いになるときは

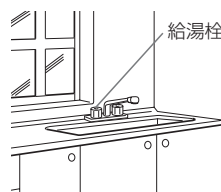
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4 の手順でおこなってください。

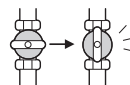
1 給水元栓を全開にする。



2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。

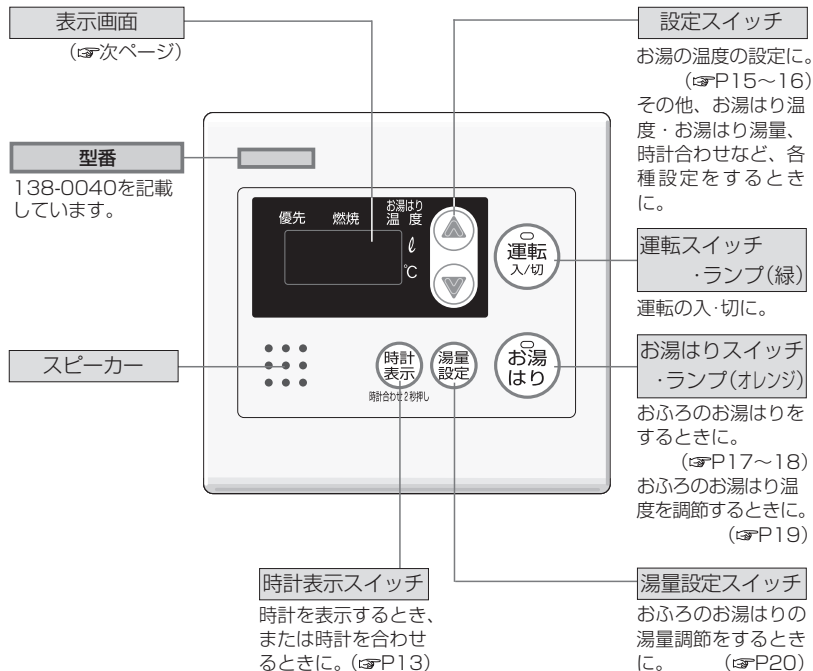
ぬれた手でさわらない

(例: 133-N100型)

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

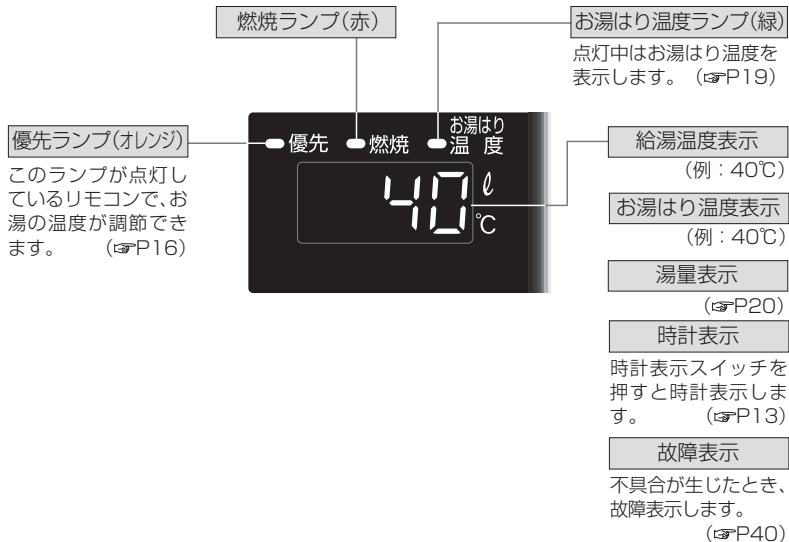
台所リモコン<別売品>

(台所などに取り付けます。)



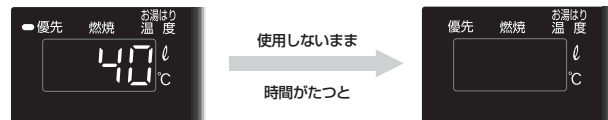
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

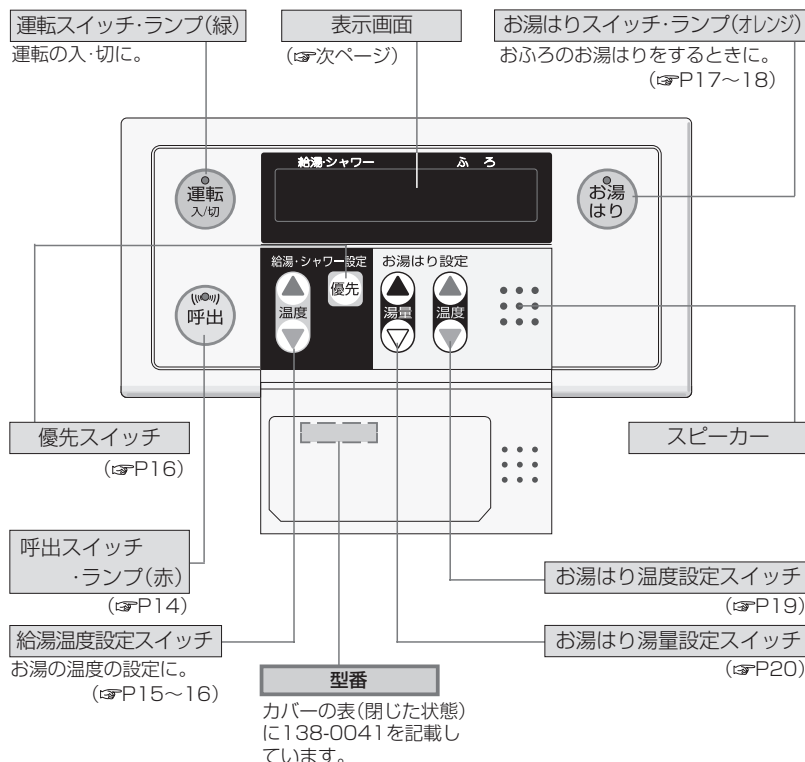
※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

- * 再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
- * 給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
- * 台所リモコンでは、時計を表示させると表示の節電はしません。

各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

浴室リモコン<別売品>

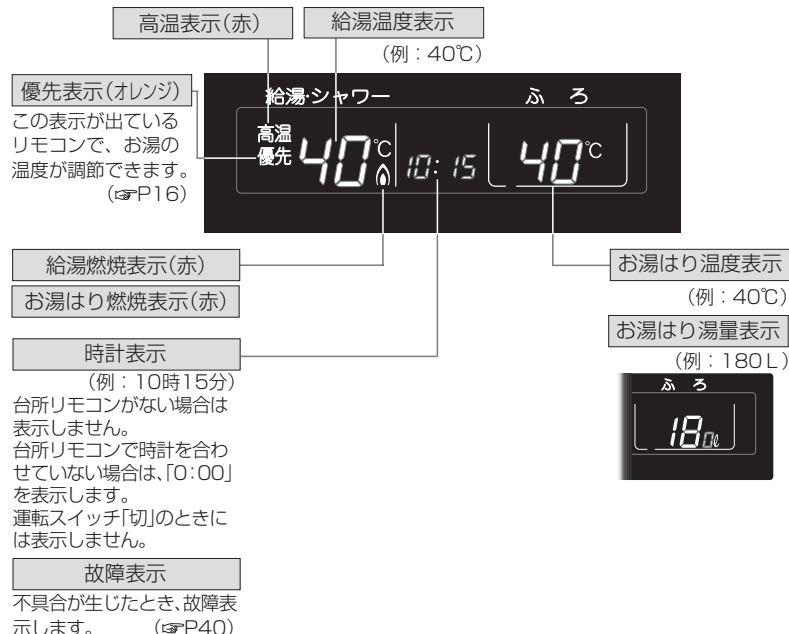
(浴室に取り付けます)



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

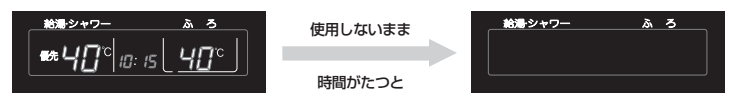
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(オート止水機能を
使った場合約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



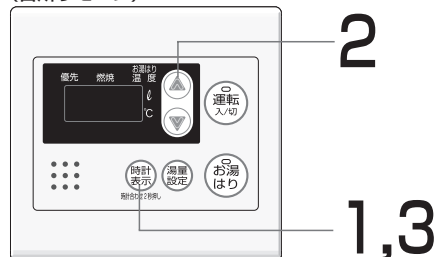
※画面が消えても、運転は「入」の状態です

※再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

使いかた 時計を合わせる・時計を表示させる

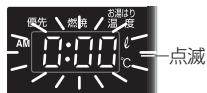
(台所リモコン)



- ・時計合わせは台所リモコンでします。(浴室リモコンではできません)
- ・台所リモコンで時計を合わせると浴室リモコンにも時計表示をします。
- ・運転スイッチの「入・切」に関係なく、時計合わせや時計を表示させることができます。(イラストは「切」の状態です)

時計を合わせる

1 時計表示スイッチを約2秒押す (「0:00」が点滅するまで)



2 時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

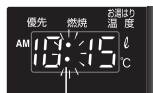


例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを押す



点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



このみ点滅

台所リモコンに時計を表示させる

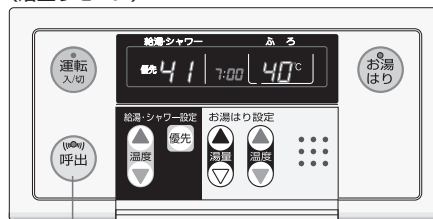
時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、台所リモコンの時計表示が消えます。



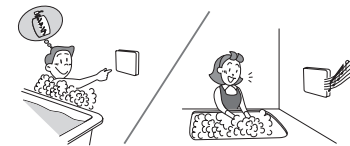
- ・時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- ・お湯の使用途中、60℃の高温設定時に時計表示スイッチを押した場合は、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- ・停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると「0:00」に表示が変わりますので、時計を合わせなおしてください。
- ・台所リモコンでは、時計を表示させると表示の節電はしません。(P22)

使いかた 浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす (台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼出スイッチを押す

チャイムで呼び出します。

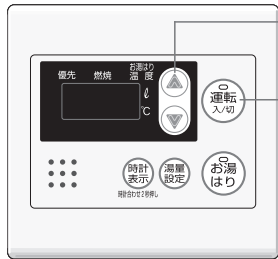


押し続けると、手をはなすまでチャイムをくりかえします。

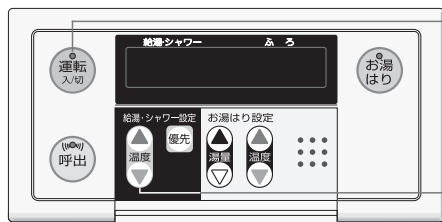
●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

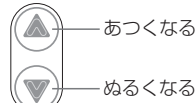
1 運転スイッチを「入」にする



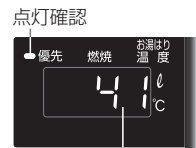
前回に設定した給湯温度
(例：40℃)

<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで
給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



※浴室リモコンの場合は
給湯温度設定スイッチです。



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



4 使い終わったら
給湯栓を閉める



警告



やけど予防のために

高温注意

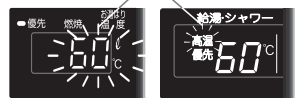
※シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

※60℃に設定したときは、🔊“あついお湯が出ます”とお知らせし、右のような表示になります。

※表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。



約10秒間 点滅→点灯



<台所リモコン> <浴室リモコン>



警告



禁止

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度の目安 ※初期設定(工場出荷時)=40℃

(℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など							給湯など				高温

<故障ではありません>

※低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなる場合があります。
※給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。

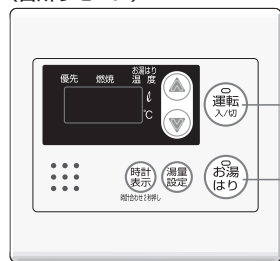
お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください——優先切替(台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合)

	湯温調節できない状態 → 湯温調節するには(優先切替) → 湯温調節できる状態	各リモコンで設定温度がそれぞれ違っていたときは、優先切り替え時に
浴室リモコン	<p>「優先」表示していない優先スイッチを「入」にする</p> <p>※給湯温度設定スイッチを押すと「優先」スイッチを押してください</p>	<p>🔊“給湯温度を〇〇℃に変更しました” 🔊“あついお湯が出ます”(60℃時)</p>
台所リモコン	<p>点灯していない</p> <p>※設定スイッチを押すと浴室優先です</p> <p>運転スイッチを一度「切」にし、点灯再度「入」にする</p> <p>※お湯は中にこの操作をするとお湯はりが停止します。</p>	<p>🔊“あついお湯が出ます”(60℃時)</p>

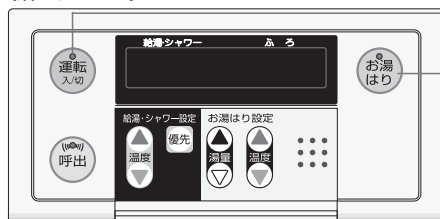
リモコン 138-0040型、138-0041型の場合

お風呂のお湯はりをする<オート止水>

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



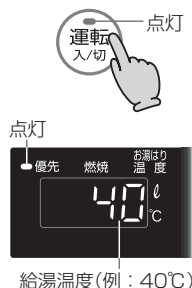
ここでは台所リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める。
2. 浴槽のふたをする。
(お湯はり部分は開ける)

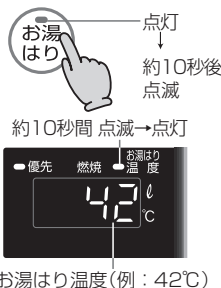
1 運転スイッチを「入」にする



給湯温度 (例: 40℃)

お湯はり温度・湯量の調節
19~20ページ参照

2 お湯はりスイッチを「入」にする



お湯はり温度 (例: 42℃)

給湯栓を開ける前に
お湯はりをやめたいとき

お湯はりスイッチを「切」にする。
(ランプ消灯)

■サーモ付混合水栓を使用している場合

- お湯はり時は必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置までまわして使用してください。
中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。
- ※給湯栓の構造により「H」または「高」の位置でもお湯はり完了後、水が多少流れる場合があります。
湯温がさがったり、浴槽からお湯があふれることがありますので、メロディが鳴ったらすぐに給湯栓を閉めてください。



警告



高温注意

やけど予防のために

給湯栓を閉めた後、水栓側の温度設定は温度40℃ぐらいの位置にもどしてください。

<オート止水>とは

浴槽にお湯をはるときお湯の量を設定しておく、その量になったときにリモコンのメロディと音声(🔊)「お風呂が沸きました」でお知らせし、お湯が自動的に止まります。
(給湯栓は開いたままなので必ず閉めてください)



🔊お湯はり完了後10分以内に給湯栓を閉めなかった場合は、お湯が使用できません。

メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら、リモコンに「FF」を表示しますので、給湯栓を閉めてお湯はりスイッチを押してください。
🔊「お湯はりの設定を解除しました」と音声でお知らせし、約15秒後にお湯はりランプが消えたらお湯が使用できます。

3 お風呂の給湯栓を開ける



※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

給湯栓を開けたあと
お湯はりをやめたいとき

給湯栓を開めてから、お湯はりスイッチを押してください。
※🔊「お湯はりの設定を解除しました」と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えるまで給湯栓を開けないでください。

4 お湯はりメロディが鳴ったらお風呂の給湯栓を閉める



メロディでお知らせ
+
🔊「お風呂が沸きました」
🔊「給湯栓を閉めてください」

※他で給湯を使用している場合はその給湯栓も閉めてください。

<給湯栓を閉めると>

- ・しばらくして(約30秒以内)🔊「お湯はりの設定を解除しました」とお知らせします。
- ・お湯はりランプが消灯します。

<給湯栓を閉めなかったら>

メロディが鳴ってから約10分間、給湯栓が閉まったかどうかを確認するため自動的に機器が水を流し、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。
給湯栓を閉めると水は止まります。

<メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら>

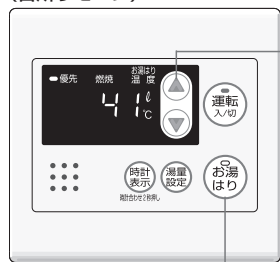
下記の表示が出ますので、給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。
※🔊「お湯はりの設定を解除しました」と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えるまで給湯栓を開けないでください。



- お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯はり温度のお湯が出ます。
- お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけお湯はり量が多くなります。

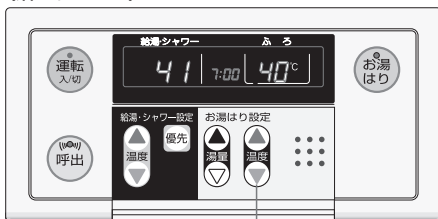
使いかた お湯はり温度を調節する

(台所リモコン)



2

(浴室リモコン)



1,3

このスイッチの操作のみで調節できます

ここでは台所リモコンでご説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

＜一度設定すると記憶します＞

1 お湯はりスイッチを「入」にする

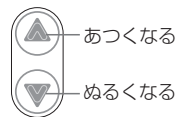


約10秒間 点滅→点灯



前回設定したお湯はり温度
(例：40°C)

2 設定スイッチでお湯はり温度を調節する



変更したお湯はり温度

3 お湯はりスイッチで給湯表示画面に戻る



消灯



給湯温度

そのままお湯はりますときは3でお湯はりスイッチを押さず給湯栓を開けてください。2の段階で変更した温度でお湯はります。

お湯はり温度の目安

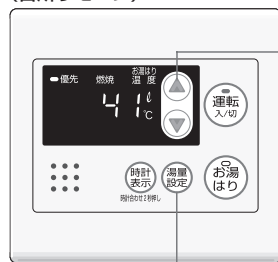
(℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
めろめ	ふつう									あつめ	

※初期設定(工場出荷時)=40°C

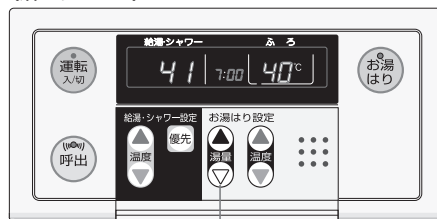
使いかた お湯はり湯量を調節する

(台所リモコン)



2

(浴室リモコン)



1,3

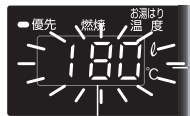
このスイッチの操作のみで調節できます

ここでは台所リモコンでご説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

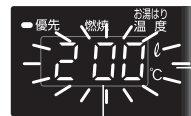
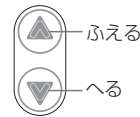
＜一度設定すると記憶します＞

1 湯量設定スイッチを押す



前回設定したお湯はり湯量
(例：180L)

2 設定スイッチでお湯はり湯量を調節する



変更したお湯はり湯量

3 湯量設定スイッチで給湯表示画面に戻る



給湯温度

最後に湯量設定スイッチを押したときでも、2の段階で変更した湯量で確定されます。

お湯はり湯量

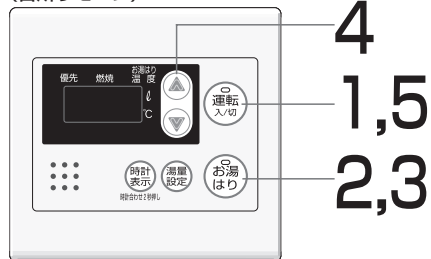
40～260(20Lきざみ)・300・350・400Lの値で調節できます。

※初期設定(工場出荷時)=180L

リモコン 138-0040型、138-0041型の場合

使いかた 各設定を変更する(リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



台所リモコン・浴室リモコンのそれぞれで設定してください。

1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。



2 お湯はりスイッチを 2秒間押す

ピッと鳴るまで(2秒間)押す。



台所リモコン



音量設定モード
点灯

現在の設定 点滅

浴室リモコン



音量設定モード
点灯

現在の設定 点滅

3 お湯はりスイッチで設定モードを選ぶ



押すごとに切り替わります。

下表 3

表示画面は台所リモコンでご説明します

4 設定スイッチで変更する(浴室リモコンの場合は給湯温度設定スイッチで)



ふえる(ON)

へる(OFF)

下表 4

□ = 初期設定(工場出荷時)

3 お湯はりスイッチを押す(押すごとに切り替わります)

音量

「1」にする

音量設定モード

設定



音声ガイド

「2」にする

音声ガイド設定モード

設定



表示の節電

「3」にする

表示の節電設定モード

設定



4 設定スイッチで変更する

0	1	2	3
なし	小	中	大

※「0」の設定でも「呼び出し音」(P14)は鳴ります。
※「0」に設定すると「お湯はりメロディ」(P18)は鳴りません。

ON (あり)	声でお知らせします
OFF (なし)	声でお知らせしません

※操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「0」に設定してください。

ON (する)	無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはオート止水機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。 ※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。 ※台所リモコンで時計を表示させると台所リモコンの表示の節電はしません。
OFF (しない)	運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。

5 設定が完了すれば

運転スイッチを押す
または 30秒放置する

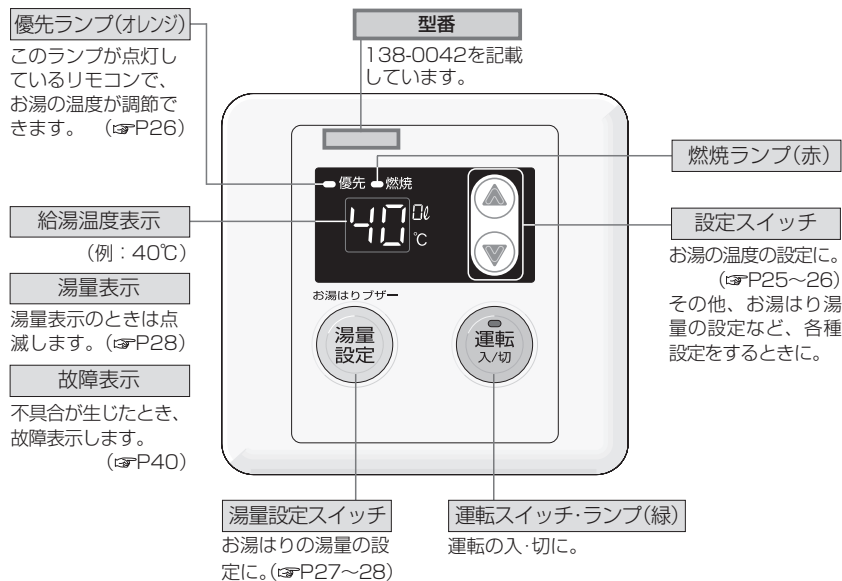


続けて他の設定を変更する場合は、再度2~5の手順で変更してください。
そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。
使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

各部のなまえとはたらき(リモコン)

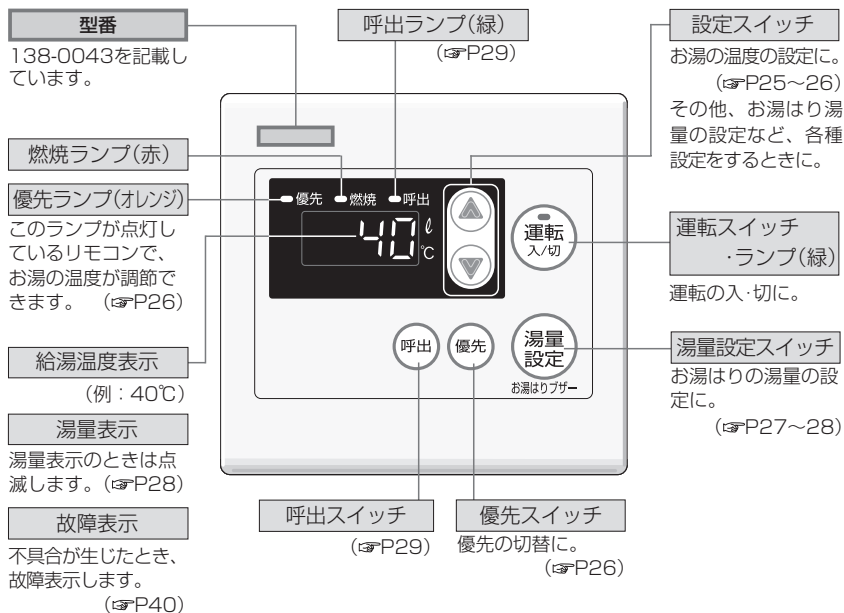
台所リモコン<別売品>

(台所などに取り付けます) 下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。実際の運転のときは、該当部分を表示します。



浴室リモコン<別売品>

(浴室に取り付けます) 下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。実際の運転のときは、該当部分を表示します。



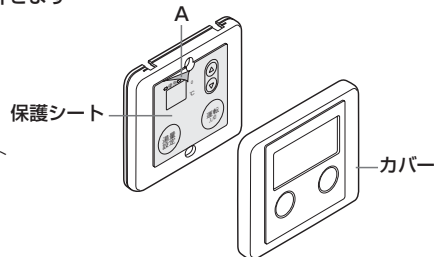
※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

リモコン表面の保護シートは取り外せます

(保護シートは外してある場合もあります)

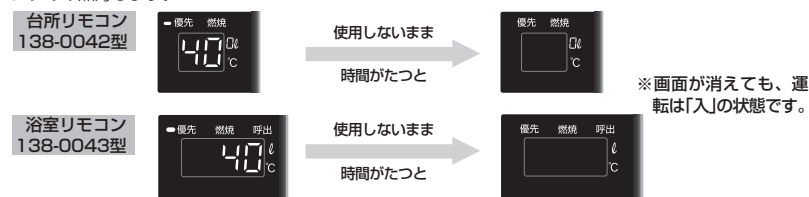
<保護シートの外しかた>

1. カバーを外す。
2. リモコンのプレート表面の保護シートを右図A部分よりはがして取り外す。
3. カバーを元どおり取り付け。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



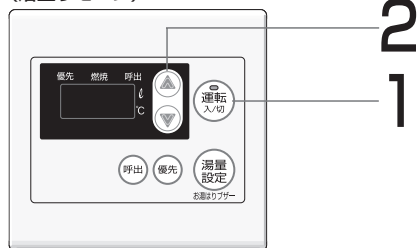
*再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
*給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



ここでは台所リモコンでご説明します

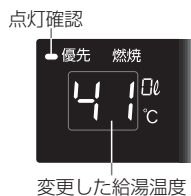
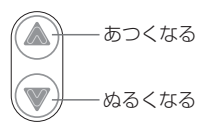
<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)



3 給湯栓を開ける



4 使い終わったら給湯栓を閉める



お湯の温度の目安

※初期設定(工場出荷時)=40℃

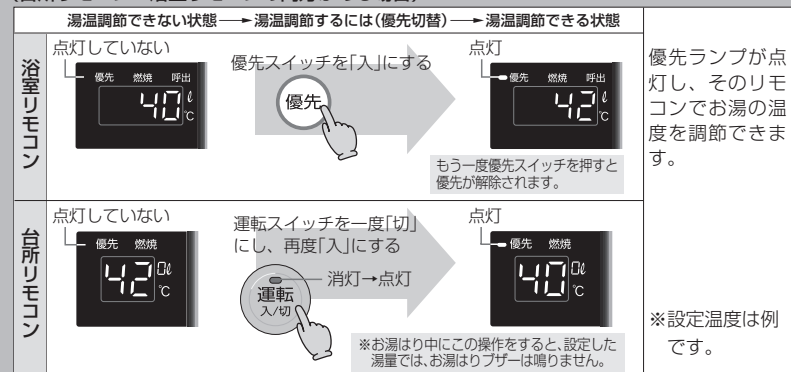
(℃: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、)
実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60
食器洗い など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	シャワー、給湯など	高温

《故障ではありません》

※低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合、お湯の温度が設定温度よりも高くなることがあります。
※給湯栓を開けた直後は、湯温を安定させるため、一定時間湯量が少なくなることがあります。

お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください — 優先切替
(台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合)



警告



やけど予防のために
高温注意

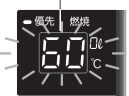
* シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

* 60℃に設定したときは、温度表示が点滅(約10秒)後、点灯して高温が出ることをお知らせします。

* 表示の温度をよく確かめてから使用してください。60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。



約10秒間 点滅→点灯



<例: 台所リモコン>

警告



シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

リモコン 138-0042型, 138-0043型の場合

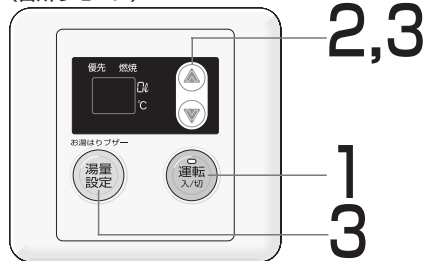
優先ランプが点灯し、そのリモコンでお湯の温度を調節できます。

※設定温度は例です。

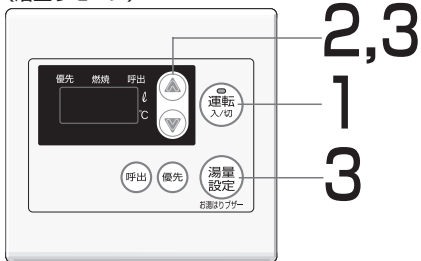
※お湯は中にこの操作をすると、設定した湯量では、お湯はりブザーは鳴りません。

使いかた お風呂のお湯はりをする

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



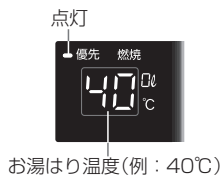
ここでは台所リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める。
2. 浴槽のふたをする。
(お湯はり部分は開ける)

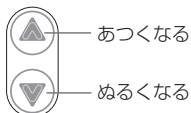
1 運転スイッチを「入」にする



お湯はり温度(例: 40℃)

<一度設定すると記憶します>

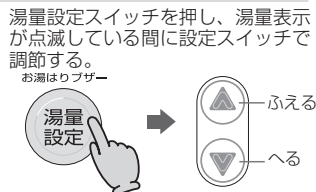
2 設定スイッチでお湯はり温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



変更したお湯はり温度
(例: 42℃)

<一度設定すると記憶します>

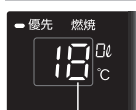
3 設定スイッチでお湯はり湯量を調節する (変更しないときは湯量を確認する)



40~260(20Lきざみ)・300・350・400・990Lの値で調節できます。(目安の量)

※ お湯はりブザーが必要でない場合は、990Lに設定してください。

台所リモコン



お湯はり湯量 点滅(例: 180L)
※ 10秒後、お湯はり温度表示に変わります。

浴室リモコン



4 給湯栓を開ける



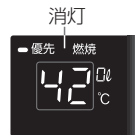
※ サーモ付混合水栓の場合
は、水栓側の温度設定を
最も高温にしてください。

5 ブザーが鳴ったら 給湯栓を閉める

ブザー(ピピッ音)が鳴ったら
お湯を止めてください。



※ 990Lの場合、ブザーは
鳴りません。



警告

優先ランプのついているリモコンの給湯温度でお湯はりします



高温注意

浴室リモコンでお湯はり温度を設定しても、お湯はり中に台所リモコン側に優先を切り替えると、お風呂も台所リモコンの給湯温度でお湯はりします。
台所リモコンで高温に設定している場合などは特に注意してください。

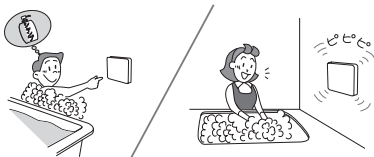
- 台所リモコン・浴室リモコンのどちらに優先があっても、それに関係なく湯量の設定ができます。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけお湯はり量が多くなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- お湯はりをしていないくても、台所・他で設定した湯量まで連続してお湯を使用すると、お湯はりブザーが鳴ります。

使いかた 浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす (台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があつたり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)



呼出スイッチを押す

- 呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。
- 台所リモコンがない場合は、浴室リモコンでのみ呼び出し音が鳴ります。



ブザーで呼び出します。

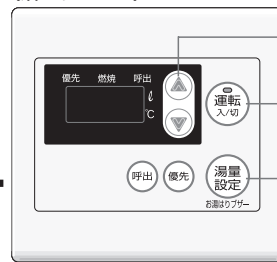
押し続けると、手を離すまでブザーをくりかえします。

使いかた 表示の節電を切り替える

(台所リモコン)



(浴室リモコン)



表示の節電とは・・・

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと表示画面が消えます。(運転ランプのみ点灯)
お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
※初期設定(工場出荷時)=する

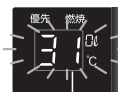
表示の節電「する／しない」を各リモコンで個別に設定することができます。

ここでは台所リモコンでご説明します

1 運転「切」にする



2 湯量設定スイッチを約2秒間押す



前回の設定が点滅します。

(例：31 (表示の節電する))

3 設定スイッチで変更する

	台所リモコン	浴室リモコン
表示の節電 する	31℃	31℃
表示の節電 しない	30℃	30℃

運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。

4 設定が完了すれば
運転スイッチを押す
または 30秒放置する



そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。
使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくで運転「切」の状態に戻ります。

使いかた リモコン操作音の消しかた、鳴らしかた

各リモコンで個別に設定できますが、ここでは、台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という操作音が鳴ります。
お好みにより、この音を鳴らさないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
(初期設定(工場出荷時)は、鳴る設定です)

運転スイッチを 約5秒間押す

リモコン操作音を消す設定をした時



リモコン操作音を鳴らす設定をした時



- 呼び出し音とお湯はりブザーは、リモコン操作音を消しても鳴ります。
- 運転スイッチ「入」のときにこの操作をすると運転スイッチ「切」になります。

お湯を出す/お湯の温度を調節する

お湯の温度は、約60℃の高温(固定)です。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

1 電源プラグを電源コンセントに差し込んでいるか確認する



2 給湯栓を開ける



3 お湯の温度を調節する



4 使い終わったら給湯栓を閉める



通常電源プラグは差し込んだままで、
抜く必要はありません。



警告

やけど予防のために



高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。



凍結による破損を予防する-1

お願い

*暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。

*凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

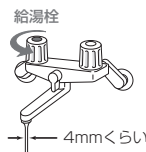
機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。
(リモコンの有無、運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防します)

*給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。
(わからないときは、販売店に確認してください)

■低温注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しいときは、以下の処置をする。<リモコンがある場合のみ>機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 念のため、約30分後に再度流れる量を確認する。



*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。
やけど予防のため。

<リモコンがある場合>凍結してお湯(水)が出ないとき

■運転スイッチを「切」にする。

気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

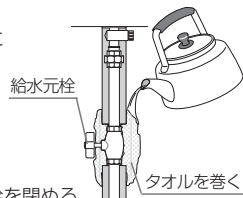
1. 運転スイッチを「切」にし、台所などの給湯栓を少し開けておく。
2. ガス栓を閉める。
3. 給水元栓を回してみる(閉めてみる)。



給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。

注意
*熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
*機器の電源プラグ・コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
*ガス栓とまちがえないように注意してください。



- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりにつけた水を乾いた布で拭き取る。
- 5) 今後凍結ににくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。
(わからないときは、販売店に確認してください)

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

*給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

以下の要領で水抜きをしてください。



注意



高温注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が700cc以上(配管・設置条件によって量が異なります)出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1 ガス栓を閉める。



2 <リモコンがある場合>運転スイッチを「切」にする。

<リモコンがない場合>いずれかの給湯栓を全開にする。

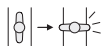


3 <リモコンがある場合>電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

<リモコンがない場合>2の操作より20秒以上経過後、電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらない

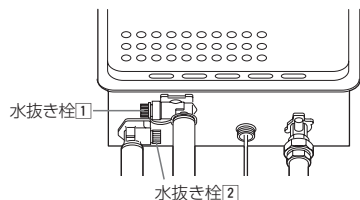
4 給水元栓を閉める。



5 すべての給湯栓を全開にする。



6 水抜き栓①②を左に回して開け、外す。



※各水抜き栓は、配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります。

7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓①と水抜き栓②、およびすべての給湯栓を閉める。

再使用のとき

1. 水抜き栓①と水抜き栓②が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P8「初めてお使いになるときは」の手順1～4にしたがってください。

日常の点検・お手入れのしかた-1

点 検 (定期的)



注意



高温注意

点検・お手入れは、リモコンの運転「切」または、電源プラグを抜いておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

チェック

機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？
→ 燃えやすいものを置かない。

チェック

* 機器の外観に異常な変色や傷はないか？

* 運転中に機器から異常音が聞こえないか？

* 機器・配管から水漏れはないか？

→ 現象があった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック

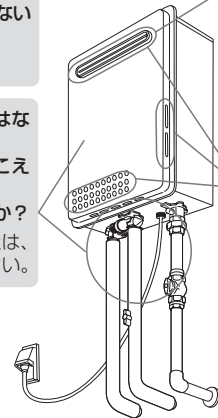
排気口にススがついていないか？

→ ついていたら、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

チェック

排気口・給気口がほこりなどでふさがっているか？

→ ふさがっている場合は、掃除する。



(例：133-N100型)

お手入れ (定期的)

機器本体

機器の外装の汚れは、ぬれた布で落としたあと、充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコンの掃除にはベンジンや塩素系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコンは防水タイプではありません)

日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ（定期的に）

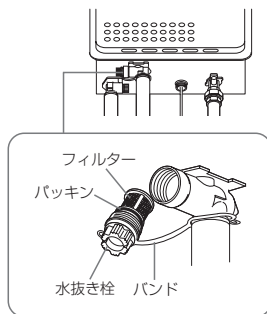
水抜き栓のフィルター

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転を「切」または、電源プラグを抜いて機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

※水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. 水抜き栓を外す。（注1）
4. 配管とつながっているバンドから外す。
5. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（注2）
6. 元どおりに水抜き栓を取り付ける。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



（注1）このとき水（湯）が出ます。

（注2）水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

＜定期点検のすすめ（有料）＞

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いても
お湯が出ない

- * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- * 断水していませんか？
- * 給湯栓は充分開いていますか？
- * ガスメーター（マイコンメーター）がガスをしゃ断していませんか？
- * LPガスの場合、ガスがなくなっていますか？
- * 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますか？（P35）
- * 凍結していませんか？（P32）
- * 【リモコンがある場合】運転スイッチは「切」になっていませんか？または、故障表示が出ていませんか？
- * 電源プラグが抜けていませんか？

給湯栓を開いても
すぐお湯にならない

- * 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

低温のお湯が出ない

- * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- * 【リモコンがある場合】給湯温度設定は適切ですか？（P15～16またはP25～26）
- * 水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
- * 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
- * 【リモコンがない場合】太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。

高温のお湯が出ない

- * ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- * 【リモコンがある場合】給湯温度設定は適切ですか？（P15～16またはP25～26）
- * 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度（高温）のお湯が出ない場合があります。給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。

お湯の使用中に水になった
（途中で火が消えた）

- * 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
- * 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります（自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします）。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

【リモコンがある場合】
給湯温度の調節ができない

- * 台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合、操作しているリモコンに優先切替えていますか？（P16またはP26）

（つづく）

故障・異常かな？と思ったら-2

(つづき)

設定したお湯はり温度にならない	* 前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
-----------------	--

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	<ul style="list-style-type: none"> * お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合があります。 * 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。 * お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
お湯はりの量が設定した湯量にならない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。 * 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。 * 混合水栓の設定を確認してください。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	* 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
設定量までお湯はりをしてもお湯はりメロディ、お湯はりブザーが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> * お湯はりメロディ、お湯はりブザーは、給湯器で燃焼したお湯が設定量で連続して出ると鳴るしくみです。サーモ付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるので、設定したお湯はり量より水の分だけ多いところで鳴ります。 【リモコン138-0040型、138-0041型の場合】 * 音量を「0(なし)」に設定していませんか？ (P22) 音量「0(なし)」の設定の場合、お湯はりメロディは鳴りません。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	* 機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはオート止水機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(表示の節電) (P22またはP30) お湯を出したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例) 運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など...	<ul style="list-style-type: none"> 【呼出スイッチまたは、リモコン138-0040型、138-0041型のお湯はりスイッチ以外のスイッチの場合】 * 表示の節電中にスイッチを1回押すと、表示の節電を解除し、もう1度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。
表示の節電の状態にならない	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電「する」の設定になっていますか？ (P22またはP30) * 給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 【リモコン138-0040型の場合】 * 時計表示をしているときは、台所リモコンの表示の節電はしません。
【リモコン138-0040型、138-0041型の場合】	
リモコンの時計表示が「0：00」になっている	* 停電後、再通電すると時計表示が「0：00」になりますので、時計合わせをしなおしてください。(P13)

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら-3

(つづき)

リモコンの表示が「OFF」になっている

*おふろのお湯はり(オート止水)が終了してから10分以上経過していたり、お湯はり中にスイッチを押したためです。すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。
"お湯はりの設定を解除しました"と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えるまで給湯栓を開けないでください。

「音」に関すること

運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする

*再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。

運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくすると、モータの動く音(クックッ、クー)がする

その他

使用中に消火した

*ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
*断水していませんか？
*給湯栓は充分開いていますか？
*ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？
*LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？

寒い日に排気口から湯気が出る

*冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。

お湯が白く濁って見える

*水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。

機器の給湯側の水抜き栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある

*機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。

浴槽や洗面台が青く変色した

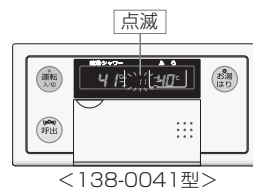
*浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが健康上問題ありません。浴槽や洗面台をごまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障表示をお調べください

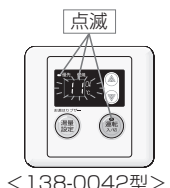
不具合が生じたとき、表示画面に故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。



<138-0040型>



<138-0041型>



<138-0042型>



<138-0043型>

表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していないか、またはLPガスがなくなっていないかを確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
リモコン138-0040型、138-0041型の場合 OFF	おふろのお湯はり(オート止水)が終了してから10分以上経過していたり、お湯はり中にスイッチを押したため	すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。

— 以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください —

- ・上記以外の表示(例: 61 など)が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P36～40の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番 …………… (機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください)

異常の状況 …… (故障表示など、できるだけ詳しく)

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

BL認定品について

BL認定品には、機器にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

(BLマーク)



主な仕様-1

仕様表

24号			
型番	133-N100型	133-N102型	133-N105型
型式名	GQ-2437WS	GQ-2437WS-C	GQ-2437WS-TB
種類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋外設置形	
点火方式	放電点火式		
使用水圧 (MPa)	0.1~1.0 (1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5 (約1.5~5.0kgf/cm ²) >		
作動水圧 (kPa)	10 (0.1kgf/cm ²)		
最低作動流量 (L/分)	3.5		
外形寸法 (mm)	高さ520× 幅350× 奥行170		
質量 (本体) (kg)	16		
接続口径	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R1/2	
電源	AC100V (50/60Hz)		
消費電力 (50/60Hz) (W)	42/42	46/46 (都市ガス13A) , 48/48 (LPガス)	
電気関係	凍結予防ヒーター 125		
待機時消費電力 (W)	3.0		
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

20号			
型番	133-N110型	133-N112型	133-N115型
型式名	GQ-2037WS	GQ-2037WS-C	GQ-2037WS-TB
種類	給湯方式 先止め式		
設置方式	屋外設置形		
点火方式	放電点火式		
使用水圧 (MPa)	0.1~1.0 (1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5 (約1.5~5.0kgf/cm ²) >		
動作水圧 (kPa)	10 (0.1kgf/cm ²)		
最低作動流量 (L/分)	3.5		
外形寸法 (mm)	高さ520× 幅350× 奥行170		
質量 (本体) (kg)	15	16	
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	R1/2	
電源	AC100V (50/60Hz)		
電気関係	消費電力 (50/60Hz) (W)	37/37	44/44 (都市ガス13A), 46/46 (LPガス)
	凍結予防ヒーター	125	
	待機時消費電力 (W)	3.0	
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

主な仕様-2

16号				
型	番	133-N120型	133-N122型	133-N125型
型 式 名	GQ-1637WS		GQ-1637WS-C	GQ-1637WS-TB
種類	給湯方式	先止め式		
	設置方式	屋外設置形		
点火方式	放電点火式			
使用水压 (MPa)	0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²)<推奨水压 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²)>			
作動水压 (kPa)	10(0.1kgf/cm ²)			
最低作動流量 (L/分)	3.5			
外形寸法 (mm)	高さ520× 幅350× 奥行170			
質量 (本体) (kg)	14			
接続口径	給湯	R1/2		
	給水	R1/2		
	ガス	R1/2		
電気関係	電源	AC100V (50/60Hz)		
	消費電力 (50/60Hz) (W)	33/33	45/45	
	凍結予防ヒーター	125		
	待機時消費電力 (W)	3.0		
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式			
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置			

- ・ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・ 出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・ 但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

能 力 表

※型番は仕様表を参照してください。

型 式 名		GQ-2437WS, GQ-2437WS-C, GQ-2437WS-TB		
使 用 ガ ス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) 〈kW〉 50.0	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
都市ガス	13A		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
L Pガス			24	15

型 式 名		GQ-2037WS, GQ-2037WS-C, GQ-2037WS-TB		
使 用 ガ ス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) 〈kW〉	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
都市ガス	13A		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
LPガス			41.6	20

型 式 名		GQ-1637WS, GQ-1637WS-C, GQ-1637WS-TB		
使 用 ガ ス		1時間当りのガス消費量(最大消費量) 〈kW〉 33.4	出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
都市ガス	13A		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
LPガス			16	10

